

誰でもふるさと納税できます

市民の皆さんもぜひ牧之原市に

ふるさと納税をすると、さまざまな特典があることをご存じですか？手続きはとても簡単です。あなたのふるさととして、これからも牧之原市を愛し、応援してください。

問い合わせ 商工企業課 宮崎 ☎2647

ふるさと納税とは？

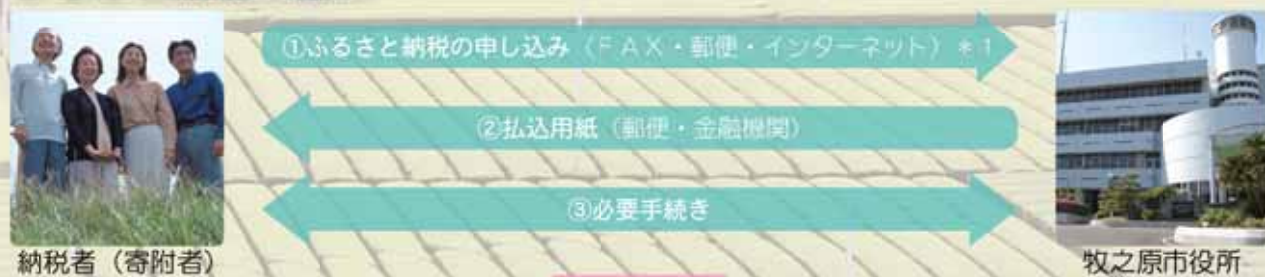
牧之原市に対して1万円以上のふるさと納税をすると「住民税などの控除」が受けられる+「記念品」がもらえる制度です。

ふるさと納税額のうち2,000円を超える部分について、所得税・個人住民税から全額が控除されます。（所得に応じて控除額の上限が異なります）

控除を受けるためには、ふるさと納税をした翌年に確定申告を行うことが必要です。ただし、確定申告が不要な給与所得者などについては、ふるさと納税先が5団体以内であれば、ふるさと納税をした自治体に申告することにより、確定申告が不要となります。（ふるさと納税ワンストップ特例制度）

いくら納付するとお得なのかは、インターネットなどで簡単計算！

ふるさと納税の流れ



*1: インターネットでの申し込みの場合にはクレジット決済ができます。

完了

記念品「牧之原市の特産品」



約200品の中から選べます

住民税などの控除

ふるさと納税の申込方法

- ふるさと納税カタログの寄附金申込書による申し込み
- インターネットサイト「ふるさとチョイス」からの申し込み

HP <http://www.furusato-tax.jp/japan/prefecture/22226>

どちらの方法からも申し込み可能！

表1 医師

開設診療科	人数	開設診療科	人数
総合内科	3	呼吸器内科	非常勤対応
家庭医療科	1	消化器内科	非常勤対応
外科	3	腎臓・神経内科	非常勤対応
循環器内科	2	放射線科	非常勤対応
心臓血管外科	2	形成外科	非常勤対応
整形外科	1	耳鼻咽喉科	非常勤対応
口腔外科	3	産婦人科	非常勤対応
矯正歯科	2	脳神経外科	非常勤対応
泌尿器科	1	皮膚科	非常勤対応
小児科	1		
精神科	1		
健診・ドック	1		
外来未開設診療科	人数		
麻酔科	1		
病理・内視鏡	1		

*常勤医師23人（開設診療科と外来未開設診療科の合計）。



在宅療養の支援を積極的に展開している



救急患者の受け入れを24時間対応している

産婦人科の開設には、複数の医師と助産師、看護師などの医療スタッフを以て間体制を整える必要があるということから、個々の医師に支援を求めることが困難な状況です。また、産婦人科の医師の不足の要因は、少人数で昼夜を問わずの分娩から医療事故につながるリスク

も高く、産婦人科の医師を志す人が減少していることにあるとされています。このため、日本産科婦人科学会では、地域に基幹分娩取扱病院を定めて、複数の医師を集めた分娩体制を整えようとしており、この基幹病院を核に周辺地域の病院支援を行うおうとしています。志太榛原地域では、焼津市立総合病院が産婦人科の医師7人体制で、周産期医療の環境整備を図っており、基幹的な役割を担っています。市では、榛原総合病院がこのような基幹病院との連携のなかで、分娩体制を整えられよう、地元で安心して産み育てられる環境づくりを目指して、引き続き医師の確保に努力してまいります。

榛原総合病院からのお知らせ

【脳神経外科】4月から水曜日も外来診療を開始
水曜日 午前9時30分から（受付時間は午前11時30分まで）
金曜日 午前9時から（受付時間は午前11時まで）

【皮膚科】4月から外来診療を再開
金曜日 午前10時から（受付時間は午前12時30分まで）

【眼科】9月から金曜日の午前中に外来診療を開始
金曜日 午前9時から（受付時間は午前11時まで）

榛原総合病院が指定管理者制度を導入し、経営を医療法人沖縄徳洲会に委託をして6年半が経過。全国規模での地方病院の医師不足の波にのまれつつも、少人数の医師がスタッフと協力連携し合い、全力で地域医療を支え、経営も安定しています。

問い合わせ 高齢者福祉課 榛葉 ☎230076

病院の現状

榛原総合病院は、23人の常勤医師と非常勤医師により20の診療科と健診センターを開設しています。（表1）総合診療や小児科、歯科口腔外科は夕方診療を実施しており、救急患者の受け入れも24時間対応しています。常勤医師不在の診療科は、非常勤医師や他の徳洲会病院からの短

期間の応援医師で対応しています。産婦人科の分娩再開に向け、榛原総合病院では、昨年の7月から、産婦人科の医師2人が退職となり、分娩ができない状態となっています。市では、医師確保のために沖縄徳洲会本部に重ねて要望を行うとともに、全国の大学病院に医師派遣のお願いも行い、市内に診療所を開設するための助成制度を創設するなど、医師確保の支援に努めています。困難な医師確保の背景には、全国規模での産婦人科の医師不足という状況があります。産婦人科の開設には、複数の医師と助産師、看護師などの医療スタッフを以て間体制を整える必要があるというところから、個々の医師に支援を求めることが困難な状況です。また、産婦人科の医師の不足の要因は、少人数で昼夜を問わずの分娩から医療事故につながるリスク

も高く、産婦人科の医師を志す人が減少していることにあるとされています。このため、日本産科婦人科学会では、地域に基幹分娩取扱病院を定めて、複数の医師を集めた分娩体制を整えようとしており、この基幹病院を核に周辺地域の病院支援を行うおうとしています。志太榛原地域では、焼津市立総合病院が産婦人科の医師7人体制で、周産期医療の環境整備を図っており、基幹的な役割を担っています。市では、榛原総合病院がこのような基幹病院との連携のなかで、分娩体制を整えられよう、地元で安心して産み育てられる環境づくりを目指して、引き続き医師の確保に努力してまいります。

や福祉サービスなどを紹介。看護相談では24時間の訪問看護や、訪問リハビリテーションなどの在宅療養の支援を行っています。このような活動もあり、牧之原市民で在宅による医療や介護の支援を受けながら、住み慣れた自宅で最期を迎えらるる方は、県内市町で2番目に多くなっています。在宅医療や看取りは、今後の超高齢化社会において、必要不可欠であり、市としても患者支援センターや医師会、介護関係者と連携してその体制を充実させていきます。

地域医療を支える病院を目指す

産婦人科の分娩再開に向け

も高く、産婦人科の医師を志す人が減少していることにあるとされています。このため、日本産科婦人科学会では、地域に基幹分娩取扱病院を定めて、複数の医師を集めた分娩体制を整えようとしており、この基幹病院を核に周辺地域の病院支援を行うおうとしています。志太榛原地域では、焼津市立総合病院が産婦人科の医師7人体制で、周産期医療の環境整備を図っており、基幹的な役割を担っています。市では、榛原総合病院がこのような基幹病院との連携のなかで、分娩体制を整えられよう、地元で安心して産み育てられる環境づくりを目指して、引き続き医師の確保に努力してまいります。